

令和4年(2022年) 12月20日(火) 14027号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は1万円引き下げの118万円

12月の月内建値平均は118万8,700円

以金属は19日、電気銅建値を1万円引き下げの118万円にすると発表、同日より実施した。12月の月内建値平均は118万8,700円。

17日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,231.50ドル。19日の東京市場の米ドルTTSレートは137.22円。この値で換算した採算価格は、112万9,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

7月	1170(1)	1130(5)	1080(7)	1100(11)	1050(13)	1070(19)	1050(22)	1080(27)	平均1085.5
8月	1110(1)	1090(3)	1110(8)	1140(12)	1110(16)	1140(19)	1160(23)	1170(26)	平均1129.5
9月	1140(1)	1120(5)	1160(7)	1190(9)	1210(13)	1180(15)	1170(21)	1130(26)	平均1158.5
10月	1150(3)	1170(5)	1190(17)	1170(20)	1190(24)	1200(27)	平均1178.9		
11月	1170(1)	1250(7)	1230(9)	1250(14)	1220(16)	1190(18)	1170(22)	1160(28)	平均1202.1
12月	1190(1)	1200(8)	1190(14)	1180(19)					平均1188.7



黄銅削粉買値 22円引き下げ 853円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は19日黄銅削粉買値を22円引き下げの853円と発表した。

今月4回目の改定。12月の月内買値平均は863.5円。



亜鉛建値 3万9,000円引き下げ 46万9,000円

12月の月内建値平均は48万2,500円

三井金属鉱業は19日、電気亜鉛建値を3万9,000円引き下げの46万9,000円にすると発表、同日より実施した。12月の月内建値平均は48万2,500円。

17日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は3,127.00ドル。19日の東京市場の米ドルTTSレートは137.22円。この値で換算した採算価格は、42万9,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

7月	484(1)	466(6)	484(11)	469(14)	472(20)	平均474.3	
8月	508(1)	511(4)	532(9)	562(17)	544(22)	559(26)	平均537.0
9月	547(1)	502(6)	505(12)	517(15)	493(21)	463(27)	平均502.3
10月	490(3)	505(6)	481(12)	493(17)	487(20)	平均490.2	

11月	457(1)	484(7)	472(10)	493(15)	472(18)	445(25)	平均469.3
12月	475(1)	481(6)	502(9)	508(14)	469(19)		平均482.5

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

非鉄金属市況・需給動向10月報告

金 大幅利上げ観測から安値推移

JOGMEC

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)がこのほど発表した10月の金・白金族市況動向報告によると、金は米の好調な経済指標や高インフレ持続に伴う大幅利上げ観測により1,600US\$/oz台の安値で推移した。

金市況動向

①好調な米経済指標でFRBの利上げ継続観測から下落: 1,664.6US\$/ozでスタート。前月28日、英中銀が市場安定化を目的とした英国債の緊急購入を発表し上昇基調で越月したところ、4日はドル安も受け、対前日比50US\$/oz近く上昇した。6日には当月最高値の1,715.1US\$/ozをつけたが、翌7日に発表された9月の米失業率は3.5%(前月3.7%)、非農業部門雇用者数は263千人増(予想は255千人増)と比較的好調、これを受け米FRBの利上げ継続との見方が広がり、実質金利も1.6%台と上昇、ドル高も進行し翌週10日以降、下落に転じた。

②米の高インフレ持続で安値のまま推移:

12日公表の米PPI、翌13日公表の米CPI、いずれも前月比0.4%と市場予想(0.2%増)を上回った。これで高インフレが持続していることが示され、FRBの大幅利上げ継続の観測が強まり、中旬は1,650US\$/oz前後を推移した。17日、英Truss首相が打ち出した45b£の減税計画等の経済対策を、14日に就任したHunt財務相がほぼ完全に撤回したことで、市場には安心感が広がり、ドル安も一服したことなどから、19日以降1,600US\$/oz前半の水準に下落、21日、当月最高値の1,633.9US\$/ozをつけた。

③インドのディワリで一時的上昇もドル高で再び下落:

24日以降、印において需要量が高まるヒンズー教の祭典ディワリに伴い上昇、26日に1,668.8US\$/ozをつけた。しかし27日、ECBが2回連続となる0.75%の大幅利上げを

決定、利上げは市場では織り込み済だったため、対ユーロでドル安が進行していたのが一時再びパリティを割り込み、27日以降再び下落基調となり、1,638.9US\$/ozで越月した。

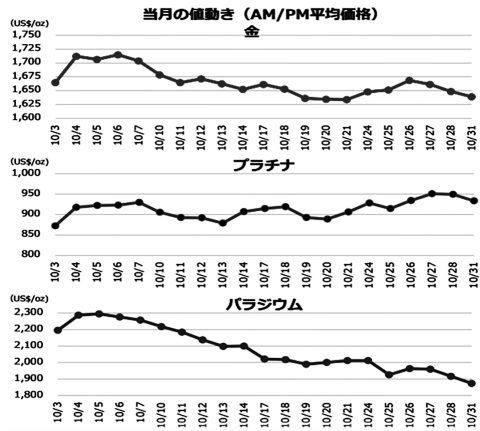
白金族(PGM)

①プラチナ市況:

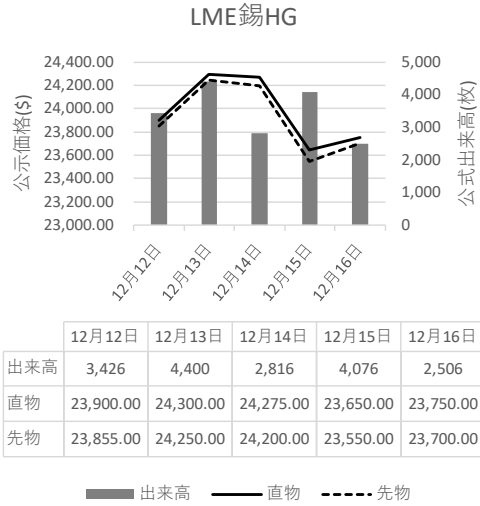
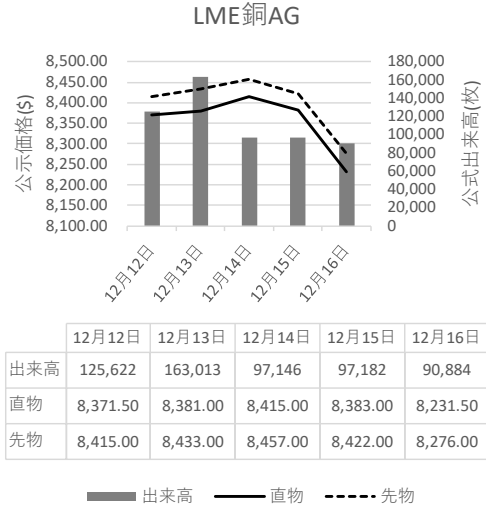
当月最高値の872.5US\$/ozでスタート、月を通じて上昇基調で推移した。南アAmplats社が2022年7~9月期のプラチナ生産量が8%減少と発表した27日、当月最高値の951.0US\$/ozをつけ、933.5US\$/ozで越月した。仏でストライキを発端に製油所閉鎖があり産業需要の減少が予想されるなか、自動車排ガス触媒ではパラジウムからプラチナへの代替が進展、需要増になるとの見方もある。

②パラジウム市況:

2,196.0US\$/ozでスタート、5日に当月最高値の2,296US\$/ozをつけた後は、月を通じて下落基調となり、当月最高値の1,873.5US\$/ozで越月した。露・宇情勢は先行きの見通しが見えず供給不安が拭えないみだが、2023年の需給バランスが供給過剰との報道も、露Norilsk社発表の2022年7~9月の生産量は前年同期比0.4%増と比較的好調でもある。またプラチナへの代替による需要減少が価格の重しになっているとの見方もある。



LME公式値週間推移 12月12日~12月16日(現地)



※ 12月16日の出来高は速報値です。



軽金属協会・伸銅品組合 (071)

今時の若者は？ 企業は？

～中野雅至さんの講演会～

大阪軽金属商協会(竹内成介会長)と大阪伸銅品問屋組合(久野実理事長)合同の恒例啓発講演会がこのほど大阪市内のホテルで開かれ、テレビなどでお馴染みの中野雅至・神戸学院大学現代社会学部教授が「これからの日本経済～若者の動きからみた景気の行方～」をテーマに熱弁を振るった。混沌とした社会情勢のなかの若者気質・行動を紹介、企業経営のヒントになればと約70人が聴き入った。



講演する中野雅至教授

◆ 中野雅至さんプロフィール

◆ 1964年奈良県生まれ。1990年に旧労働省入省。ミシガン大公共政策大学院修了、経済学博士。厚労省国際課課長補佐などを経て兵庫県立大助教授・教授、14年から現職。著書に「なぜ若者は理由もなく会社を辞められるのか？」など。読売テレビ「そこまで言って委員会NP」などのコメンテーターでも活躍。

講演は経済情勢からスタート。日本の経済成長の低迷ぶりを示し、「すべての業種、企業が不調ではない。良い業種、悪い業種が分かれ、V字型でもW字型でもなく、大きく差が開きKの形を描きつつある」と解説。飲食・宿泊・生活関連・エンターテインメントのコロナ関連4業種は回復するか？と期待し、また高齢者の大きな消費が籠っていると述べた。

そこで、消費促進効果の大きいのは観光・インバウンドとし、「日本人一人当たりの年間消費支出125万円は外国人を8人連れてくればカバーできる。観光がいかに大きなドル箱になっているか、下手な景気対策よりも効果が大きい」と訴えた。また「三つの生産性」として、「仕事の効率性を上げる(テレワークなど)」「利益率の高い企業を作り出す(生産性=売上÷労働時間)」「DXを進める」を提示。「生産性の高い働き方はできているか？ 効率の高い働き方をしているか？ 売上を意識した働き方になっているか？ 無駄な業務だらけになっていないか？ 問題なくテレワークが進められているか？」と問いかけた。

この後は、人口減少のなかの若者たちの気質・行動へ。「留学者数の減少や消費しない若者、働くことを嫌がる若者」などから「内向きの傾向」があると指摘し、背景には財政赤字、少子高齢化、日本の没落などの将来不安があるのではないかと述べた。

大学の講義などからは、「無邪気な若者」として、スマホばかりいじっている/分厚い本を読まない/コピペ

病/ネット依存/臭いに敏感/ヘアスタイルにこだわる/過保護/人間関係に敏感/お菓子ばかり食べている…。さらに、二極化が目立ち、海外志向、上昇志向、エリート志向は少なくなっている？/少ない意欲的な学生の取り合い=インターンシップ重視の企業が増加一と指摘。

若者の「仕事観」は…プライベート重視/安定志向/根強い公務員人気/地元が大好き(自分の家や部屋が好き)の地元就職志向？/ブラック企業嫌い/自分を犠牲にしてまで会社に尽くす気はさらさらしない/無駄なことはやりたがらない/コスパで仕事を計り不合理や理不尽には声を上げる/忘年会スルー/消費でも合理性が目立つ。また、自分の存在意義を確認したが/同僚や部下に優しく関係もフラット/成長願望は強いが、理不尽な職場で耐えることを意味しない/自分のメンタルやスキルの成長に敏感/どこかに将来不安がある？。「食いつきのいい言葉」では「成長できるかどうか/自分を守る「武器」を持っているか？」を挙げた。

新入社員意識調査で「自分のキャリアプランに反する仕事を我慢して続けるのは無意味だ」と思う割合は、2006年が23.4%、18年は38.0%と紹介。「自分勝手な成長願望？」として、成長したいと言いつつ受け身/成長機会は職場や上司が提供してくれるものと考えている一と評し、少子化のなか高校も大学も「成長させる」ことがセールスポイントと指摘した。また、高い辞職率については、大学卒業3年後離職率32.3%(2012年3月)などと紹介し、辞める理由は、人間関係(上司を含めて)職場の雰囲気合わない/キャリアに役立たない/負担が重すぎる/自分に対する評価に満足できない/昇進見通しに不安/会社の将来性が不安/労働時間が長い/給料が安いなどを挙げた。

そこで、企業が「弱々しい若者を前に」採用で確かめておきたい面接は「学生の知能からメンタルを計る」ヘシフト。質問には「あなたの人生の物語と、その過程で下した決断と、その理由と、過去最大の難題とそれをどう解決したかを教えてください」という例もある。中野教授は「スキルより、非認知能力(積極性や粘り強さ、リーダーシップの高さといった数値では図りにくい能力)の方が重要か」とし、自分に対する自信があるか/意欲があるか/忍耐があるか/意思や精神力が強いのか/社会的適応性(リーダーシップなど)があるか/回復力(すぐに立ち直れる)があるか/特に「やり抜く力」は成功者に共通する要素と言われる一と揭示、最後に「若者育成法として」次の3点を挙げた。

1 少しの努力で超えられそうなハードルを用意する

→ 一度成功すると自信をつける。自信がつけば、失敗しても頑張ろうとする。「超えられそうなハードル」を用意すればいい。

2 ほめる時は、行動直後に、具体的にほめる

→ 相手を真実認めると、期待に答えようとして壁を乗り越えようとする。

3 社会貢献と誇りを関連づけて説明する

→ やっていることには意義があり、社会貢献にきちんとつながっていることを理解させる。

故銅市況

前週末17日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,383.00ドルより151.50ドル安の8,231.50ドル。直物の終値は、前営業日の8,253.00ドルより19.00ドル安の8,234.00。3か月物の前場売値は、前営業日の8,422.00ドルより146.00ドル安の8,276.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,293.50ドルより27.00ドル安の8,266.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の376.30セントより0.15セント安の376.15セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の1月限は、前営業日の6万6,010元より550元安の6万5,460元。

週明け19日の東京為替市場TTSレートは、前週末の138.73円より1.51円の円高ドル安、1ドル=137.22円。17日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,231.50ドル。この値と19日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の120万円より3万3,000円安の116万7,000円。この日、電気銅建値は118万円に引き下げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

（12月19日更新）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1022~1027、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは987~992、並銅は952~962、込銅（高品位=約97%）は942、セバは675~680。コーペルは要り用筋616、それ以外は601ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋626、それ以外596~606どころの値頃。並青銅鋳物削粉は833~838どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1002~1022、上銅新くずが967~987、普通上銅が942~962、2号銅線が934~954、並銅が932~952、込銅（94-97%）が880、込銅（90-93%）が882、下銅が431~481、セバが640~675、コーペルが556~601、黄銅棒地が551~596、黄銅削粉が546~591、黄銅ラジが511~519、交叉ラジが549~606、黄銅銅鋳物が535~542、送りが332~351、上青銅鋳物が830~850、並青銅鋳物が810~825、上青銅鋳物削粉が825~845、並青銅鋳物削粉が800~820どころ。

為替動向

16日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0030ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0610ドル~1.0620ドルで推移した。米欧の中央銀行が金融引き締めに積極的な姿勢を継続する方針を示していることで世界的な景気停滞への懸念が広がっている。投資家が運用リスクを取りにくくなっており流動性の高いドルが買われる傾向が強まった。英ポンドも対ドルで下落。同じく0.0060ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2150ドル~1.2160ドルで推移した。この日発表された英国の11月小売売上高は前月比0.4%減と市場予想の0.3%増に反して減少。前年比でも5.9%減で市場予想の5.6%減を下回った。英中銀は積極的な金融引き締め姿勢を堅持しており、消費が更に停滞するとの懸念からポンド売りドル買いが優勢になった。

16日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反発した。前日と比べ1.00円の円高ドル安、1ドル=136.70円~136.80円で取引を終えた。FRBがFOMCで2023年末の政策金利見直しを引き上げたことで、市場では景気低迷につながる懸念が強まっている。この日発表された米国の12月PMI速報値は製造業が前回の47.7を1.5下回る46.2、市場予想は47.7だった。サービス業も前回の46.2を1.8下回る44.4で市場予想は0.6上昇の46.8だった。とも好不況の分かれ目される50を下回っており、製造業は2020年5月以来の低水準になった。

19日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前週末17時と比べ0.84円の円高ドル安、1ドル=136.38円~136.40円で推移した。前週末、政府と日銀の共同声明見直し論が浮上していると報じられたことで、日銀が早い時期に大規模な金融緩和策を転換するとの憶測が拡散、円相場を支えた。ただ、FRB高官から大幅な利上げの長期化を示唆する発言が相次いでおり、円相場の上値を重くしている。円は対ユーロでも上昇。同じく1.53円の円高ユーロ安、1ユーロ=144.37円~144.41円で推移。

銅・非鉄金属地金全般

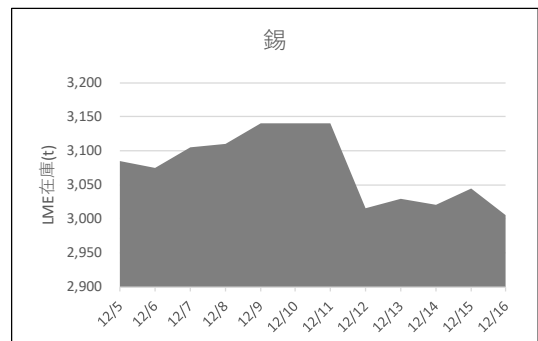
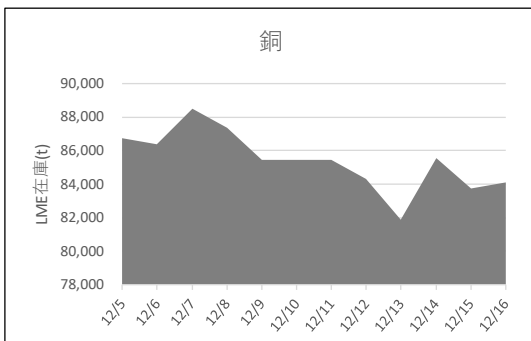
株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME認定倉庫在庫推移 12月5日~12月16日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は8,234.00ドル
 COMEX銅相場も小幅ながら続落 SHFE銅相場も続落
 LME非鉄相場は概ね軟調 亜鉛直物終値は3,048.50ドル



17日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、12月16日入電の8,383.00ドルより151.50ドル安の8,231.50ドル。2営業日の続落で2.18%安。この週3.05%の下落。12月に入って0.41%の上伸。3か月物の前場売値は、12月16日入電の8,422.00ドルより146.00ドル安の8,276.00ドル。2営業日の続落で2.14%安。この週2.92%の下落。12月に入って0.87%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫は、現地12月15日の8万3,725トンより375トン増の8万4,100トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、12月限が、12月16日入電の376.30セントより0.15セント安の376.15セント。2営業日の続落で2.93%安。この週3.03%の下落。12月に入って0.86%の上伸。1月限は、12月16日入電の376.35セントより0.20セント安の376.15セント。2営業日の続落で2.97%安。この週2.99%の下落。12月に入って0.62%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、中心限月に当たる1月限が、12月16日入電の6万6,010元より550元安の6万5,460元。2営業日の続落で1.59%安。この週2.01%の下落。12月に入って1.03%の上伸。2月限は、12月16日入電の6万6,030元より540元安の6万5,490元。2営業日の続落で1.59%安。この週2.01%の下落。12月に入って1.19%の上伸。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、12月16日入電の2万3,650.00ドルより100.00ドル高の2万3,750.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.42%高。この週3.85%の下落。12月に入って3.37%の上伸。3か月物の前場売値は、12月16日入電の2万3,550.00ドルより150.00ドル高の2万3,700.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.64%高。この週3.76%の下落。12月に入って4.52%の上伸。LME公認倉庫の錫在庫は現地12月15日の3,045トンより40トン減の3,005トン。

鉛も反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、12月16日入電の2,133.00ドルより23.00ドル高の2,156.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.08%高。この週2.31%の下落。12月に入って0.37%の下落。3か月物の前場売値は、12月16日入電の2,144.00ドルより18.00ドル高の2,162.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.84%高。この週2.70%の下落。12月に入って0.37%の下落。LME公認倉庫の鉛在庫は現地12月15日の2万4,350トンよりトン減の2万4,350トン。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、12月16日入電の3,235.00ドルより108.00ドル安の3,127.00ドル。3営業日の続落で4.93%安。この週3.70%の下落。12月に入って5.14%の上伸。3か月物の前場売値は、12月16日入電の3,215.00ドルより117.50ドル安の3,097.50ドル。3営業日の続落で5.13%安。この週3.77%の下落。12月に入って4.57%の上伸。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地12月15日の3万6,575トンよりトン減の3万6,575トン。

アルミは反落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、12月16日入電の2,396.00ドルより42.00ドル安の2,354.00ドル。反落して1.75%安。この週4.06%の下落。12月に入って1.38%の下落。3か月物の前場売値は、12月16日入電の2,430.00ドルより32.00ドル安の2,398.00ドル。反落して1.32%安。この週3.62%の下落。12月に入って0.87%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地12月15日の48万3,850トンより万6,200トン減の47万7,650トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、12月16日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、12月16日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、12月16日入電より横ばいの2,390.00ドル。この週29.46%の下落。12月に入って0.21%の上伸。3か月物の前場売値は、12月16日入電より横ばいの2,390.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、12月16日入電の2万8,625.00ドルより225.00ドル高の2万8,850.00ドル。2営業日の続伸で3.59%高。この週3.35%の下落。12月に入って8.87%の上伸。3か月物の前場売値は、12月16日入電の2万8,850.00ドルより250.00ドル高の2万9,100.00ドル。2営業日の続伸で3.19%高。この週3.16%の下落。12月に入って9.77%の上伸。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地12月15日の5万3,958トンより96トン減の5万3,862トン。

nikkankinzoku.co.jp
PW nikkin202212

LME公示価格(US\$)／12月16日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,231.50	23,750.00	2,156.00	3,127.00	2,354.00	1,860.00	2,390.00	28,850.00
	前営業日比	▲ 151.50	100.00	23.00	▲ 108.00	▲ 42.00	0.00	0.00	225.00
	週間増減比	▲ 3.05%	▲ 3.85%	▲ 2.31%	▲ 3.70%	▲ 4.06%	0.00%	0.08%	▲ 3.35%
先物	公示価格	8,276.00	23,700.00	2,162.00	3,097.50	2,398.00	1,860.00	2,390.00	29,100.00
	前営業日比	▲ 146.00	150.00	18.00	▲ 117.50	▲ 32.00	0.00	0.00	250.00
	週間増減比	▲ 2.92%	▲ 3.76%	▲ 2.70%	▲ 3.77%	▲ 3.62%	0.00%	0.00%	▲ 3.16%

海外非鉄金属相場

(12月17日 入電・現地 12月16日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 12月限, 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 前日比, 出来高.

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2330.0, 2305.9.

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 353.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1792.55, 10600, etc.

KLTM錫(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (16日), (19日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, Oレート, M\$/US\$レート, etc.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配, (12/19), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 65460, 18745, etc.

*19日のKLTMは入電がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 8232, 23750, etc.

非鉄金属製品相場

(12月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛垂鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	◆1480	◆1435	垂鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	◆1530	◆1485	印刷用垂鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	◆1610	◆1635	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	◆1660	◆1635	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	104~107
水道用管(m当たり)13ミリ	◆1570	◆1545	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	◆1390	◆1405	軽圧品		大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆1445	◆1450	アルミ箔0.007ミリ	1125	1145	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	◆1470	◆1465	〃 小板1ミリ	760	775	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	◆1400	◆1405	〃 大板1ミリ	740	765	14sq	217~231
銅平角線	◆1670	◆1635	〃 5052板	795	815	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	◆1210	◆1205	〃 6061板	1325	1345	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	◆1240	◆1235	〃 2017板	1250	1375	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	◆1360	◆1385	〃 線3ミリ	740	760	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	◆1705	◆1685	〃 快削棒50ミリ	960	980	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	◆1675	◆1655	〃 合金棒50ミリ(17S)	945	960	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	◆980	◆1000	〃 合金棒50ミリ(56S)	900	920	CVV (関西-関東)	
六角棒	◆1010	◆1030	貴金属(一般小口向け)			3C×2	129~132
四角棒	◆1040	◆1060	白金(グラム)	◆4910		4C×2	173~177
鍛造用	◆1020	◆1040	パラジウム(グラム)	◆8673		6C×2	246~252
ネーバル	◆1120	◆1140	金(グラム)	◆8693		7C×2	281~288
高力	◆1120	◆1140	銀(キログラム)	◆114070		合金鉄 10月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	◆1385	◆1385	レアメタル輸入価格 10月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有	270
黄銅平角線ロール仕上	◆1585	◆1595	金属ケイ素(99.99%未満)	488		〃 その他	315.6
黄銅条1.5×100	◆1205	◆1220	モリブデン酸化物	3714		フェロシリコン55%以上	354
リン青銅板一般用1.0ミリ	2630	2820	タンタル	53773		フェロクロム4%以上炭素含有	280.8
〃 バネ用0.3ミリ	2860	3060	マグネシウム	516		フェロモリブデン純分60%以上	3766
リン青銅棒25ミリ	2800	3010	コバルト	8393		フェロバナジウム	3563
リン青銅線3ミリ	3100	3310	インジウム	32605		フェロニッケル33%未満	669
洋白板一般用1.0ミリ	3840	3990	減摩合金 12月16日改定			電気垂鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3990	4150	銅合金地金 12月1日発表				
(500kg以上、大口価格)			(標準価格) 大阪				
1種	4205	BC 1種	1235				
2種	4095	2種	1550				
3種	3970	3種	1630				
4種	3495	6種	1335				
5種	3345	7種	1450				
7種	1255	YBSC 3種	1110				
8種	1115	LBC 3種	1575				
9種	965	PBC 2種	1650				



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (12月19日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 37,000 ~ 39,000(1)

山元建値 電気銅 1180(19) 金 7,868(19)
 () 実施日 電気鉛 357(7) 銀 103,630(19)
 電気亜鉛 469(19) 錫(99.99%) 4,800(14)

非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値
1号銅線	◆1062	◆1057	電気銅	◆1149	◆1144	◆1151	◆1146
2号銅線	◆1020	—	電気亜鉛	◆453	◆447	◆453	◆447
上銅(新切)	◆1033	◆1027	蒸留亜鉛	◆441	◆435	◆441	◆435
雑ナゲット	◆891	◆887	再生ダイカスト亜鉛2種	◆381	◆375	◆381	◆375
並銅	◆975	◆955	再生亜鉛(98%)	◆330	◆324	◆330	◆324
下銅	◆956	◆927	電気鉛	338	335	338	335
銅削粉	◆950	◆930	再生鉛1号	320	310	313	308
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	325	321	318	314
新切黄銅セバ	◆775	◆786	錫1号	3600	3550	3600	3550
コーベル	◆743	◆744	アンチモン	1650	1600	1650	1600
黄銅棒地	◆741	◆732	ニッケル(メッキ用)	4050	4000	4050	4000
黄銅削粉	◆735	◆728	コバルト	7400	7100	7400	7100
並黄銅	◆695	◆662	セレニウム	3100	2900	3100	2900
黄銅ラジエター	◆584	◆572	ビスマス	1500	1400	1500	1400
交叉ラジエター	◆643	◆613	カドミウム	600	550	600	550
黄銅鑄物	◆700	—	マグネシウム合金	470	450	470	450
山送り(55%)	◆380	—	アルミ地金99.70%	◆367	◆363	◆369	◆365
上青銅鑄物	◆833	—	アルミ二次地金99%	828	823	828	823
並青銅鑄物	◆831	◆807	〃 90%	508	503	508	503
上青銅鑄物削粉	◆826	—	アルミ二次合金ADC12	429	424	432	427
並青銅鑄物削粉	◆816	◆792	鑄物用C2BS	456	451	454	449
新切リン青銅(仲間)	—	◆1049	青銅合金地金3種	◆1570	◆1560	◆1640	◆1630
〃(鑄物)	◆947	—	〃 6種	◆1290	◆1280	◆1335	◆1325
リン青銅削粉	◆865	◆845	ハンダ錫60%	2825	2785	2845	2815
新切洋白(電子材)	◆877	◆852	〃 50%	2455	2405	2475	2445
新切亜鉛	◆228	◆228	〃 40%	2155	2095	2110	2080
ダイカストくず	◆193	◆193	減摩合金2種	4085	4055	4090	4060
亜鉛ドロス	◆172	◆183	〃 4種	3485	3460	3490	3460
上鉛	145	143	〃 7種	1200	1150	1200	1150
電池素鉛ケース込	25	25	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		90	85
活字鉛	130	127		〃 グライ粉		75	70
新切アルミ1級	260	254		高耐食ステンレスSUS316		250	250
新切サッシ1級	260	252		耐熱ステンレスSUS310		450	450
新切合金1級	245	232		13クローム 新切		23	24
機械鑄物1級	190	197		ハイス 9種		255	255
ビス付サッシP	221	212					
合金削粉P	135	141					
込ガラP	125	130					
カン・バラ	183	169					

非鉄金属材料相場面
PW:nikkin202212